



1：身の回りにある石灰岩が関係している商品。 2：洞穴探検の装備（協力：日本洞穴探検協会）。
 3：秩父の洞穴などからみつけた化石。 4：今年6月の洞穴発掘調査でみつけた動物の骨。
 5：太古の秩父にいた猛獣たち（手前オオカミ全身骨格は、群馬県立自然史博物館の所蔵）

石灰岩は、私たちの生活に役に立つだけでなく、太古の記録を現代に残すタイムカプセルとしての役割を果たしています。秩父は、多くの化石が見つかる事で有名ですが、そのほとんどが今から約1500万年ほど前の化石です。これよりも新しい化石はあまりみつきりません。しかし、秩父の山々の石灰岩地帯にある洞穴や岩の割れ目などに、昔の生き物の化石が見つかる事があります。現在までに4か所の洞穴などから化石などがみつかっていましたが、今まであまり知られていませんでした。今回の展示では、現在までに知られている全ての産地の代表的な化石の展示を行っています。中でも注目すべき化石産地が武甲山のふもと、横瀬町にある根古屋鍾乳洞です。本展示をきっかけに根古谷鍾乳洞産化石の再調査を行ったところ、これらの化石の中にタイリクオオカミの化石が含まれている事や、今までバイソン（野牛）の化石とされ

ていたものがヤベオオツノジカという絶滅した鹿の化石である事がわかりました。これらは、今までみつかった化石の再調査の結果ですが、新たな発見を求めて秩父の洞穴を調査しています。今年6月には、日本洞穴探検協会と群馬県立自然史博物館と共同で妙法ヶ嶽山麓の洞穴の調査を行い、多くの獣骨を発掘しました。この時に発掘した獣骨も展示していますので、是非ご覧になってください。

2011年に秩父地域は、日本ジオパークに認定されました。地質の上に成り立つ生態系と私たちの暮らしがみられる場所が、ジオパークです。石灰岩をはじめとする地質の“恵み”が私たちの生活を支えています。

企画展は、平成26年1月26日（日）まで開催していますので、博物館で身近な“恵み”を発見してください。

（きたがわ ひろみち・学芸員）